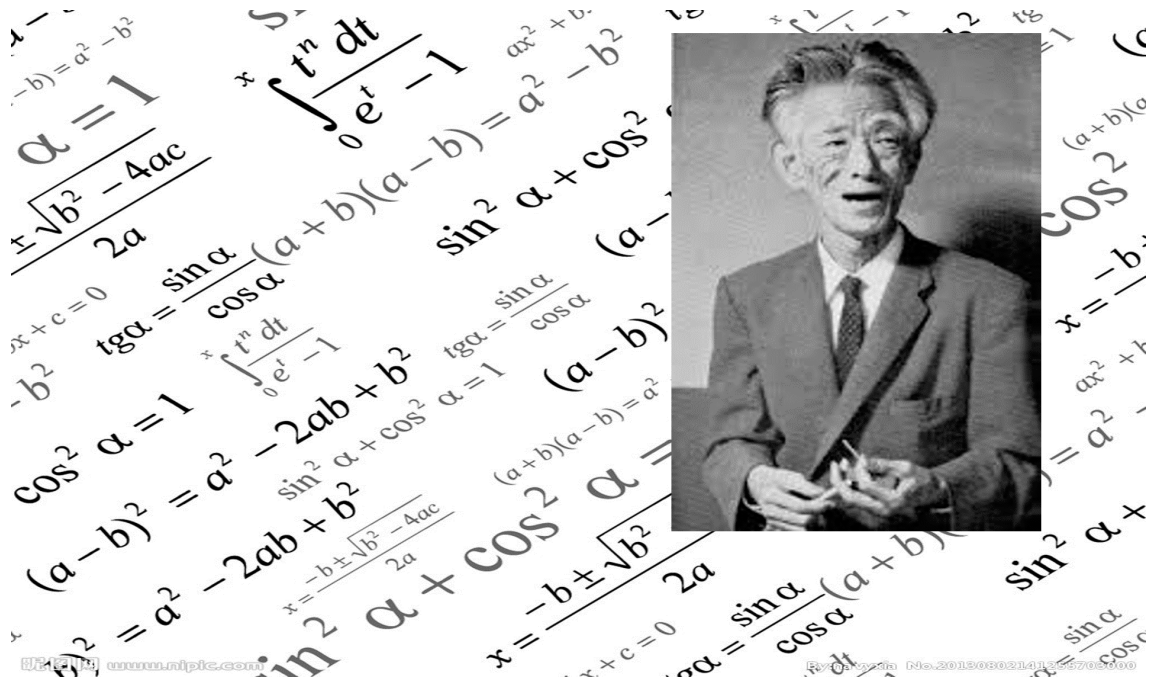


岡潔 Oka Kiyoshi

学籍番号 27014662:勝木智也

14/12/21

日本最高の数学者であり、数学にすべてを捧げた奇人



1 岡の経歴

1925 年	京都帝国大学卒業
1925 年	京都帝国大学理学部講師
1929 年	生涯の研究テーマになる多変数解析関数論に会う！
1938 年～1964 年	様々な大学で就職と辞職を繰り返す。
1969 年	京都産業大学理学部教授に就任
1978 年	3 月 1 日（満 76 歳）永眠

当時、難しくても
多変数解析関数論
をしなかつた

2 岡の主な業績 (1)

1. 三つの大問題の解決⇒???
2. ハルトークスの逆問題 (レヴィの問題) ⇒関数は連続
3. 不定域イデアル (後にこの概念のおかげで層という現代の数学において極めて重要な概念が生まれる)
4. 岡の接続定理⇒幾何+代数論+複素関数論

3 岡の主な業績 (2)

多変数関数論 変数の数を増やして一般に n 個の複素変数 z_1, z_2, \dots, z_n の正則関数

$$f(z_1, z_2, \dots, z_n)$$

を考える。局所的には考えている点 (a_1, a_2, \dots, a_n) の近くで次のように収束中級数で表されるものである。

$$f(z_1, z_2, \dots, z_n) = \sum_{v_1, \dots, v_n} c_{v_1, \dots, v_n} (z_1 - a_1)^{v_1} \dots (z_n - a_n)^{v_n}$$

4 岡が奇人と呼ばれた訳

1. 岡の講義は、まず黒板一杯に数式を書く。書き終わると考え込んでしまい、一言も喋らない。生徒達が騒ぎ出すが耳に入らない。そう、彼は自分の研究テーマに夢中で講義をする暇もないのだ。
2. ある日、岡は大事な講演会があったが、その日は機嫌が悪く、岡はマイクの前で「アッーアッー」と叫び、「今日は晴天なり、今日は晴天なり」と言ったまま、講演は全くせず、サッサと帰ってしまった！
3. ある務め先の大学の手前に岩があり、その岩に小石を投げるのを岡は出勤時の日課にしていた。
4. 小石がうまく、この岩にのっかると、そのまま大学に入って数学の講義(?)を行ったが、五、六回やってもうまくいかないと、Uターンして帰宅してしまった etc...



5 でも、その反面...!

5. あまりの賢さに海外から多くの有名数学者が岡を訪ねていた。
6. 日本の歴代数学者で五本指に入ると言われる。
7. 「岡の研究者」や「岡思想研究会」がいる。
8. 天皇陛下より従三位（じゅさんみ）という位を貰う。
9. お爺ちゃんになってからは真面目に講義して生徒から高評価。
などなど、多くの人から評価を得て、親しまれていたのも事実である。

※従三位（じゅさんみ）

=



公卿的な
感じ

6 まとめ

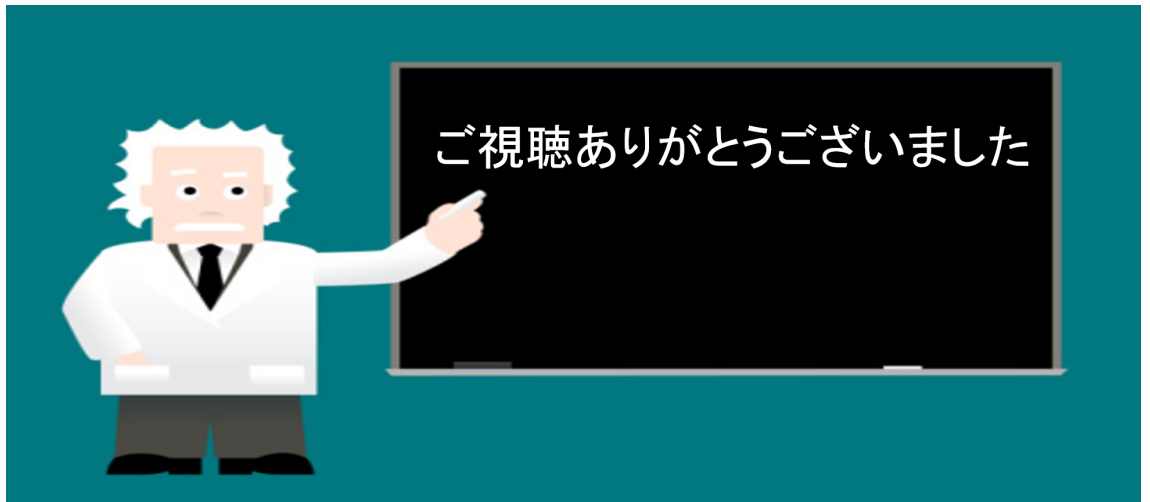
1. 非常に奇人であった岡だが、彼は数学界で重要な概念を生む手助けをし、当時まだまだ発展途上であった多変数解析関数論において大きな業績を残した。
2. 世間一般では変人・奇人と呼ばれて、多くの人が岡に良い印象を持たなかった。しかし、そんな彼を尊敬し、憧れていた人も少なくない。



愛子様: 2001年12月1日誕生日

2001年にアマテラス
が生まれる





参考文献

- [1] <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B2%A1%E6%BD%94>
- [2] <http://maesaka-toshiyuki.com/detail/366>